

早速の講師あつせん要請

東浅川「やまゆり」訪問記

げんき

八王子市高齢者活動
コーディネートセンター
電話&FAX
0426-27-9179
八王子市大橋町11-35

平成十四年八月のセンター「元気」開設以来、一年間に、福祉施設二十一か所を訪問し、活動をPRしてきました。更にもっと活発にPRしようと、昨年九月以降、私たちコーディネーターが手分けして、計画的に施設訪問をはじめました。今回は、東浅川にある高齢者在宅サービスセンター「やまゆり」の訪問記を紹介いたします。

美しい笑顔に迎えられ

去る十月十日、私たちコーディネーターの古田、葛西、野口の三名が東浅川保健福祉センターの二階にある「やまゆり」を訪問しました。そこでは、アメリカンフラワー、押し花、手芸、書道、絵画など十種類以上の生きがい活動が行われていました。綺麗な作品が飾られ、職員の美しい笑顔も印象的でした。

施設長の河内さんと島村さんに応対していただ

きました。私たちは元々な高齢者の経験や特技を活用する当センターの設立目的や講師・指導者として登録されている方の活動内容などを説明しました。

早速歌唱指導、絵手紙、レクリエーション・リズム演奏などの講師あつせんの要請を受けました。



打合せで歌の指導も

十月十五日、歌唱指導の伊藤さんと絵手紙の清水さんにコーディネーターの野口が同行して、今後の日程などの打合せに訪問しました。

その中で思いがけなく、河内施設長から「今から歌の指導をして欲しい。」との話

が急に飛び出しました。

伊藤さんが快く引き受け、当日の十五名のデイホーム利用者が集まりました。

まず柔軟体操、発声練習から始まって、「紅葉」「りんごの歌」「花」「高校三年生」「故郷」と懐かしい歌が次々と集會室に流れました。

デイホームの皆さんだけでなく、やまゆり全員の生き生きとした喜びに溢れた歌声が会場一杯に拡がりました。気がつけば、同行した私もいつの間にかデイホームの一員となって歌っていました。本当に感動させられたよい一日でした。

このような素敵な出会いが、またありますようにと念しながら、コーディネーターを続けていきたいと思っています。

なお、伊藤さんの歌唱指導は、十一月十五日から月一回、清水さんの絵手紙は、十一月十四日から月一回、それぞれ正式にスタートしました。

(A・N)

食事サービスとイベント

八ボネットの活動紹介

高齢者活動コーディネートセンター（通称センター「元気」）の運営は、公設民営方式です。八王子ボランティアネットワーク（通称 八ボネット）が運営を受託しています。八ボネットの結成以来の主な活動状況を紹介します。

日野原重明先生の講演

ボランティア団体の代表や世話役が、平成十二年十二月より、情報交換や話し合いを続け、十三年五月に八ボネットを立ち上げました。

もっと福祉のしくみを知りたい、それぞれの問題や悩みを話し合い、体験を交流し合って、今後のボランティア活動を活発にしようと八ボネットを結成しました。

結成の初年度は、イベントを開催してボランティア活動に弾みをつけようと、十月に「希望をつくりだす生き方の選択」と

題して、聖路加国際病院

の日野原重明先生の講演をお願いしました。会費制にもかかわらず、いちようホール（小ホール）が満席の盛況で、励ましの言葉と元気をいただきました。

併せて、次の三団体の活動体験発表を行いました。▽片倉自治会福祉ネットワーク（濱屋正男会長）▽八王子国際友好クラブ（塚本回子会長）▽風の会（富永哲夫会長）

食事サービスの開始

話し合いの中で、高齢者等への食事サービスが

大きな話題となりました。幸いにも、大横福祉センターの旧結婚式場の調理室をお借りすることができました。

食事サービス「とまと」と名づけ、十三年九月より、毎週火・金曜日、夕食を調理・配食しています。一食五百円をいただき、容器回収方式で届けています。JR中央線の北側、大横福祉センターから車で三十分以内の範囲です。調理ボランティア・八班編成八十四名、配食ボランティア二十名で、それぞれ日程を調整して活動しています。

（問い合わせ先）
電話・FAX

二一・〇三四五

火・金 午前10時～午後5時

センター「元気」の運営

八ボネットは、市の高齢者活動コーディネート研修の修了者の団体「八コー会」の団体加入

を受け入れ、四回の設立準備会を経て、十四年八月にセンター「元気」を開設しました。

九月の「広報はちおうじ」や、チラシ、ポスターでPRを開始しました。現在は福祉施設等へのPR訪問活動もはじめています。

八ボネットの二年目は、

このほかにボランティア祭りを開催しました。黒須隆一市長の記念講演と会員外の実践事例の発表をしていただきました。

▽八王子朗読の会 灯（新井さやか代表）▽エコ・ネットワーク八王子の会（春田博代表）▽八王子アマチュア奇術クラブ（毛利清三さん）バザーと交流会も開催しました。

感銘、感涙の記念講演

結成三周年を記念して十五年十月、「国境を越えたボランティア活動」

と題して、国境なき医師団日本の寺田朗子会長に講演をお願いしました。

会費制にもかかわらず、二百四十五名のご参加をいただき、極限状態でのボランティア活動の数々に、感銘、感涙、感激の二時間でした。

偶数月は研修会

新規事業の立ち上げやイベントなどで地味な研修活動は忘れがちです。

十五年度は偶数月を研修にあてています。▽六月Ⅱ社会福祉協議会、ボランティアセンターの役割と活動▽八月Ⅱ民生委員の役割とボランティアの係わり方▽十月Ⅱ市民と行政の協働▽十二月Ⅱ市の障害者福祉サービス▽十六年二月Ⅱ生活保護のしくみ

はちバスサブレの紹介は、四ページをお読み下さい。

経験や特技を生かしませんか！

講師・指導者募集

最近、老人保健施設からの講師依頼が増えています。特に、

①ケア体操 ②折り紙
③ちぎり絵 ④唱歌・歌謡曲等の歌唱指導

⑤傾聴ボランティアなどの分野の講師が不足しています。

また、講師の補助やアシスタントの役割ができるボランティアも不足しています。

六十歳以上の方で、指導の出来る方・講師の補助やアシスタントのできる方の応募を期待します。

元気な高齢者（六十歳以上）の方は、いろいろな経験と特技を誰もが持っています。

センター「元気」では、

その方々がいろいろな形で社会参加をしながら、人と人との出会いを通して自己確認をし、生きがいのある楽しい生活が出来るよう、その経験と特技を分野別に登録をしていただき、老人福祉施設・地域の老人会・趣味の会・サタデースクール等のニーズに応じて講師として紹介する仕事をボランティアでしています。

次のような分野がありますので、得意な分野での登録をお待ちしています。詳細については、

お問い合わせください。

I スポーツ・レクリエーション

II 料理・健康指導

III 文化・学習

IV 音楽・書道・絵画等

V 茶道・華道・手芸・

工芸等

VI 趣味・娯楽

VII 福祉・相談

VIII その他

初めての講師

老人介護施設「ゆうむ」

ちぎり絵教室 講師

笠原 菊江

私は、昨年の一月から毎月第一と第三金曜日に「ゆうむ」の「生きがい教室」でちぎり絵の講師をしています。

講師と言っても未熟で恥ずかしいのですが、今まで培ってきた技術を活かして、皆さんに喜んでいただけるのが何よりの

楽しみになりました。

昨年、センター「元気」

のコーディネーターから

講師の話聞いた時は

「えっ私が？」と少し不安

でしたが、持ち前の楽

天家の私は「いいわよ」と

引き受けてしまったので、

それからが大変でした。

今までは、親戚、知

人の結婚祝いや新築祝いに

作品をプレゼントするの

を楽しみにしていました。

なので、人様に教えるのは

初めての経験です。

どんな作品が喜んで

もらえるか、毎回アイデア

で勝負、身近に季節感が



ある題材を選んで、オリ

ジナルの原図を作り、試

行錯誤で見本を作ります。

当日「ゆうむ」の皆さん

と一緒に、懸命に和紙

をちぎって貼り付けて絵

が完成した時は正直ホッ

とします。参加した方々

が自分の作品に名前を書

く時の満足そうな笑顔は、

創作の努力が喜びに変わ

る瞬間です。更に作品を

自分の部屋に飾ったり、

季節便りとして家族や知

人に送って、喜ばれた話

を聞いたたびに私は勇気を

もらっています。

これから自分の健康

に気をつけながら、元氣

に勤めさせていただきます

と思います。私の未熟

分をいつも優しく助けて

くださる、アシスタント

の渡辺恒子さんに感謝し

ますとともに、ボランティ

アの私たちを暖かく受け

入れてくださる「ゆうむ」

の職員の皆さんに感謝し

て、終わります。

講師・指導者への

アンケート結果

センター「元気」では、十月中旬から下旬にかけて講師・指導者登録者にアンケート調査（郵送）を実施しました。

主な質問と回答は次の通りです。（対象者 六十八名、十一月二十日現在回答者 五十一名、回答率 七十五％）

センター「元気」への登録について

- ① 引き続き登録する 四十四名
- ② 登録をとりやめる理由 七名
- ・登録をとりやめる理由
 - 八王子からの転出や、ボランティア活動等で多忙のため



*過去一年間の活動状況について（回答者四十名、重複回答あり）

- ① 何らかの活動をした 三十七名
- ② 特に活動しなかった 三名
- ・活動場所
- | | |
|--------------------|-----|
| 老人ホーム | 十四名 |
| 市民センター | 七名 |
| サタデースクール、学童保育所・子供会 | 七名 |
| 福祉センター | 六名 |
| 講座・同好会の講師 | 五名 |
| 老人クラブ | 四名 |
| 教室の主幹 | 四名 |
| 障害者施設 | 三名 |
| その他 | 五名 |

*意見、要望等について

- ① 広報紙「げんき」で活動状況がよく分かった。これからの活動を期待します。
- ② 広報紙でもっとPRをやってほしい。
- ③ 声がかかるのを首を長くして待っています。
- ④ 高齢者をはじめ皆様のお役に立ちたい。
- ⑤ 体調と相談しながらなので充分なこととは出来ないが、要請があれば相談にのりたい。
- 今回のアンケートでセンター「元気」に講師・指導者登録されている方が、老人ホームをはじめいろんな場所で活動されている状況と、センター「元気」に対する期待の大きさを再確認しました。今後とも講師の方との連絡を密にし、センター「元気」でもご活躍いただける機会を広げたいと

はちバスサブレの販売
八ポネットの活動

平成十五年三月、八王子の街をコミュニティバス「はちバス」が走りはじめました。

この「はちバス」の名付け親は、食事サービス「とまと」の調理ボランティア小野充子さんです。

そこで、多くのボランティアがかわって、「はちバス」にちなんだバスの形をしたサブレを作り上げました。

「はちバス」へのPR応援と八王子の新学期として、将来は全国に八王子を知っていたらこうと、夢を持っています。

現在は主としてまつりなどのイベント及び電話注文などで、一枚八十円で販売しています。

編集後記

考えています。

一人でも多くの皆様に広報「げんき」を読んでもただけるようにしよう」と広報部会も力が入ります。号を重ねる毎に「げんき」を「げんき」らしくしたいと思っています。

（J・M）
正月気分も一段落。

センター「元気」の仕事始めは、広報紙第二号の発行から。元気な高齢者の活力を期待したい。

（S・H）

「NO.1にならなくていい、もともと特別なオンラインワン」

昨年S.M.A.P.が歌いミ

リオンセラ

となった曲

です。今年

もオンライン

ワンの特色

のある広報

紙作りを目

